

※学年だよりで使用されている写真や作品の SNS 等への掲載はご遠慮ください。

大人の夏休み 第二弾

～A 先生～



「真夏の日本から、真冬のオーストラリアへ」7月27日(土)～8月24日(土)までの約1か月間、ホームステイをしながら、マッコーリー大学で英語教育について学んできました。生活習慣の違いに戸惑いながらも、その違いを体験するのが楽しい日々でした。移民が多いことやオーストラリア独特の方言があったりするせいか、道行く人や店員さんに話しかけると、いつも学校で聞くような英語の音声を耳にすることはありませんでした。今回、English as a lingua Franca. (リングフランカとしての英語) という言葉が強く印象に残りました。英語を第一言語としない人たちの共通語として、英語を使うという意味です。街角のあちこちで、第一言語が英語ではない人々が英語を使って生活をしているのかもしれないということ、私もその中の1人なんだということ、強く意識した1か月でした。



～B 先生～



人生2回目の韓国旅行に行ってきました。今回の旅のテーマは『グルメ』。グルメタンタンイ (ユッケと活きたこ)、カンジャンケジャン (ワタリガニの醤油漬)、ソルロンタン (牛骨スープ)、等、SNS で気になっていた店を全て制覇してきました。その中でも“タンタンイ”はマシッソヨ (美味) でした。日本ではなかなか食べることができない“ユッケ”とまだ足が動いている新鮮な“イイダコ”を卵黄と混ぜて食べます。食べるまでは「本当に食べて大丈夫なのか?おいしいのか?」と疑っていましたが、一口食べると箸が止まらなくなりました。途中、一緒についてきた韓国のりで巻いて食べてみましたが、これもまたチェゴ (最高) でした。普段は行列のできるミシュラン掲載店だったのですが、平日の15時頃に到着したため、並ばずに入店できたのもラッキーでした。また、出発前にたまたま見つけたアニメーション制作会社のポップアップストア&カフェにも寄り道しました。お店の2階がカフェとフォトスペースになっていて、物語の部屋や家具がリアルに再現されていました。テンションが上がり、気がつけば2時間も滞在していました……。





がん教育講演会

9月9日月曜日の6時間目は、公益財団法人日本対がん協会の堀さんをお招きして『がん教育講演会』が行われました。今回の講演では、がんに関する正しい知識と堀さんの実体験から健康と命の大切さについて考えました。

まず初めに、がんは「人にうつらないこと」「誰にでも起こる可能性があること」「男性では3人に1人、女性では2人に1人が一生の間に何らかのがんにかかること」など、がんに関する基本知識を学びました。また近年は医療技術の発展により、早期発見や治療が進み、生存率が年々向上しているそうです。そして、普段の“生活習慣”ががん予防に大きく影響することも知りました。現在、がん研究振興財団からがん予防のための『新12か条』が公表されています。その12の項目を確認しながら、自身や家族の生活習慣について振り返りました。

後半は、堀さんの闘病から現在に至るまでのお話を聞きしました。当時、中学生と高校生の娘さんがいた堀さんのお話は、「たばこは、自分のためにも家族のためにも吸わないほうが良い。」「お父さんやお母さんにがん検診を進めて欲しい。」など生徒たちへ向けた熱いメッセージが込められていました。また、自身が参加している『リレー・フォー・ライフ』の紹介もあり、「がんの患者は24時間、がん向き合っている」という言葉が印象的でした。このイベントは、そのような想いを共有し支援するチャリティー活動です。現在までに世界約30カ国、約4500カ所、日本では約50カ所でイベントが開催され、集められた寄付金は対がん活動に活用されているそうです。

今回の堀さんの講演から、生徒たちにはがんについて正しい知識をもち、自分のだけでなく家族や友人の健康も考えられる人になってほしいと強く感じました。

がんを防ぐために今日から始める12か条

① たばこは吸わない 	⑦ 適度に運動 
② 他人のたばこの煙を避ける 	⑧ 適切な体重維持 
③ お酒はほどほどに 	⑨ ウイルスや細菌の感染予防と治療 
④ バランスのとれた食生活を 	⑩ 定期的ながん検診を受ける 
⑤ 塩辛い食品は控えめに 	⑪ 身体の異常に気がついたらすぐに受診 
⑥ 野菜や果物は不足にならないように 	⑫ 正しいがん情報でがんを知る 